

平成30年10月1日

津市たるみ子育て交流館をオープン！

～災害時には拠点福祉避難所とします～



たるみ子育て支援センター
かるかも



津市たるみ子育て交流館



子育て交流ルーム
みなみがおか

平成30年9月25日

オープンまでの経過

昭和53年4月 津市たるみ児童福祉会館完成(昭和54年4月から津市社会福祉事業団により運営)

平成26年7月 津市が家庭的養護推進計画を策定

国による「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養護の推進について」の方針に基づき、津市たるみ児童福祉会館において、より家庭的な養育環境を実現するため、施設の小規模化・ユニット化に向けた整備・改修等に取り組むことを示す

平成27年4月～ 津市社会福祉事業団在り方検討会議により、当計画を検討・協議

津市たるみ児童福祉会館は、津市において地域活力再生のため地方公共団体が行う自主的・自立的な取組を国が支援する「地域再生制度」を活用し、新たな機能を有する施設として再生利用を検討する

津市社会福祉事業団が事業主体となって新しい児童養護施設等を建設し、施設を完全民営化することに決定

平成29年9月5日 地域再生計画「生涯活躍に資する生活拠点の形成に向けた多世代がつながる子育てしやすい地域づくり計画」認定申請書を国(内閣府)へ提出

津市たるみ児童福祉会館を地域再生制度の「補助対象財産の転用手続の一元化・迅速化」の支援措置により利活用

平成29年3月22日工事契約
●児童養護施設「なないろ」
(4ユニット 定員30名)
●乳児院「ましろ」
(2ユニット 定員10名)

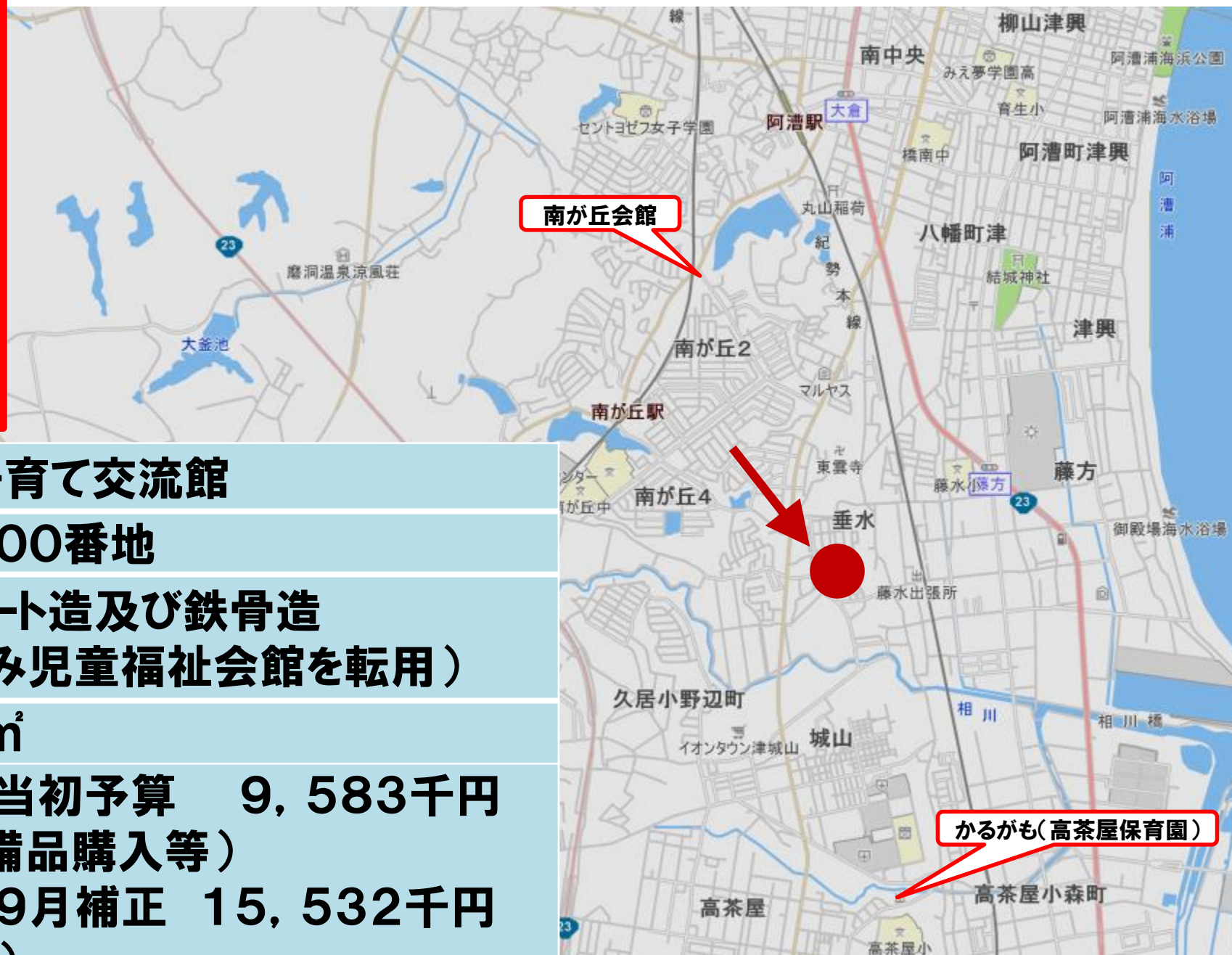
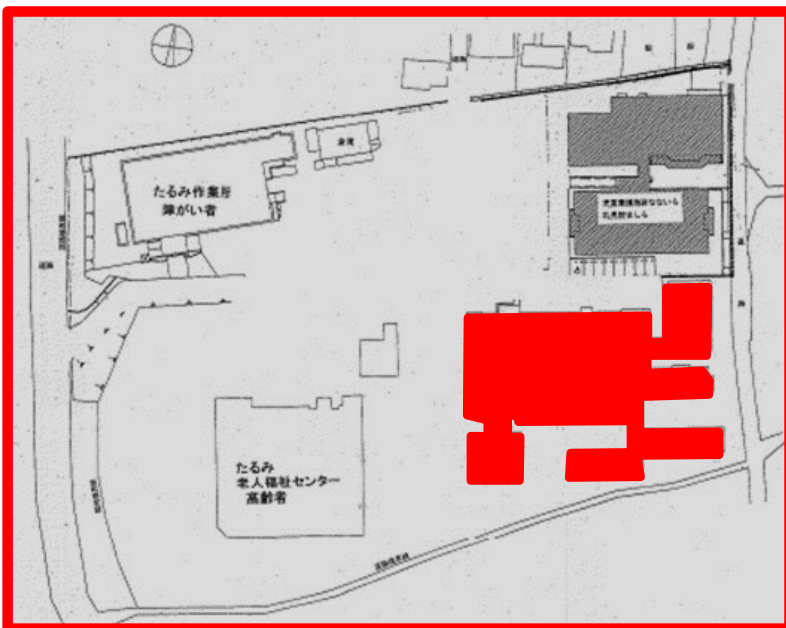
平成29年11月7日 地域再生計画を国(内閣府)が認定

平成30年4月～ 旧津市たるみ児童福祉会館を改修(段差解消、トイレ洋式化等)

平成30年4月1日
3月末で津市たるみ児童福祉会館を廃止
「なないろ」、「ましろ」の供用開始

平成30年10月1日 「津市たるみ子育て交流館」として一部供用開始

津市たるみ子育て交流館の概要



名 称	津市たるみ子育て交流館
所在地	津市垂水1300番地
構 造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 (旧津市たるみ児童福祉会館を転用)
施設面積	1655.93㎡
事業予算	平成30年度当初予算 9,583千円 (施設修繕、備品購入等) 平成30年度9月補正 15,532千円 (駐車場整備)

平成30年10月1日から一部供用開始

支援センター

たるみ子育て
支援センター
「かるがも」開設

未就園の子ども(主に0～3歳)と親を対象に、保育士が親子のふれあいと遊びの場の提供、子育てに関する相談や支援を実施

拠点



高茶屋保育園
週3日

出張先



南が丘会館
週2日

移転

拠点



たるみ子育て交流館
週4日

出張先



高茶屋保育園
週1日

開設日 週4日(月・水・木・金)、祝日・年末年始は除く

開設時間 10時～12時、13時～16時

子育て支援

子育て支援関係者
交流会・研修会

子育て広場支援者等関係者のネットワークづくり・資質向上のため、つながりひろば等の研修会・交流会を開催

保護者支援教室

ホッとひろば等の保護者や里親を支援する教室等を開催

随時開催

多世代交流

地域交流行事

自治会など関係団体と連携し子育て支援行事等を開催

随時開催

平成31年4月1日から全面供用開始

支援センター

たるみ子育て支援センター「かるがも」

子育て支援

子育て支援関係者交流会・研修会
保護者支援教室

多世代交流

地域交流行事

子育て支援

相談事業

育児や子どもからの相談事業を開催

開設日 相談会を定期的に開催

子どもの
居場所づくり

地域全体で子どもの育ち・親の育ちを支援することを目的とし、
すべての子どもを対象に以下を開設

- 自習室(子どもの自主学習を支援)
- 図書室(読書)
- 遊戯室(ゲーム、談話等)
- 未就学児遊び場(未就学児が遊べる場所の提供)
- 親子交流(乳児とその保護者の交流)

開設日 火曜日を除く毎日、年末年始は除く

開設時間 9時30分～16時30分

災害時に「たるみ子育て交流館」を拠点福祉避難所として運用

一般の避難所では避難生活に支障が想定される要配慮者を対象に、長期間の避難生活が想定される場合、資格を持った専門職員の配置により安心して避難生活を送ることができる福祉避難所を開設

※要配慮者▶▶▶介助や見守り等の特別な配慮を必要とする高齢者、障がい者、妊産婦等

一般の避難所での要配慮者の状況を踏まえ、市が福祉避難所の開設を決定

拠点福祉避難所 【一部介助が必要な人】

**パーテーション等で間仕切った避難スペース
や個室で、資格を持った専門職員の派遣に
よる支援のもと、公共施設を利用して受け
入れ**

指定福祉避難所 【常時介助が必要な人】

「災害時の福祉避難所に関する協定」を締結している民間の社会福祉施設(59施設)で、特別養護老人ホームや障がい者施設が専門的に受け入れ

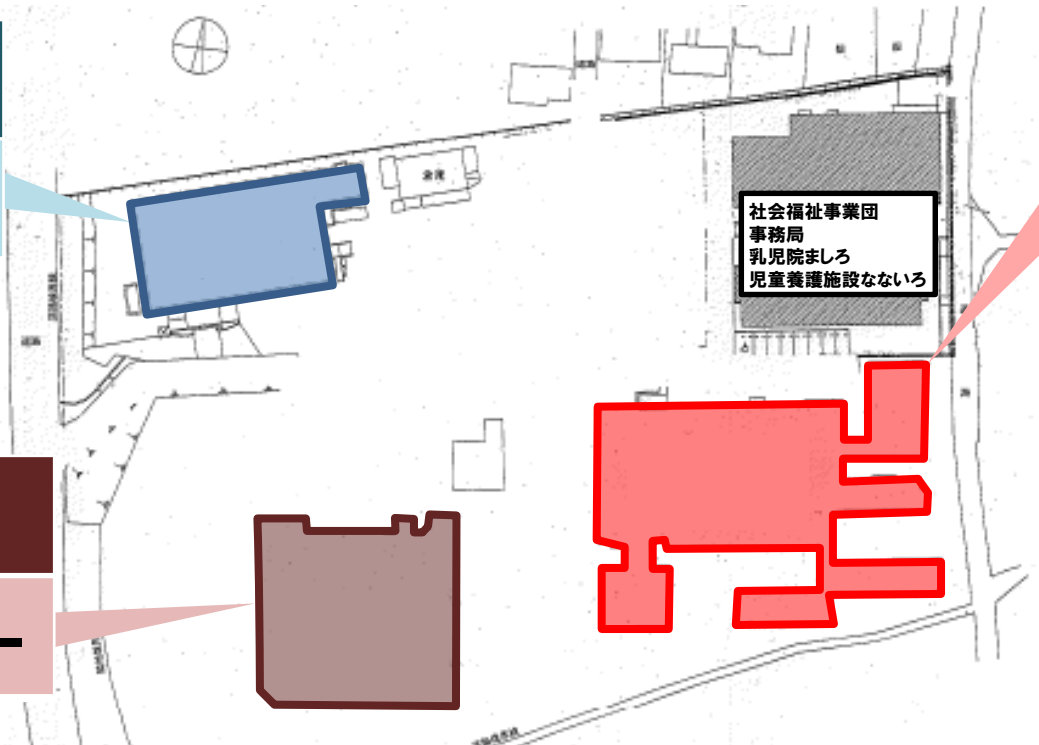
たるみ子育て交流館を拠点福祉避難所として運用！

併せて、同敷地内の「たるみ作業所」及び「たるみ老人福祉センター」も拠点福祉避難所として運用

垂水地内の各施設の配置図

障害者就労支援施設
たるみ作業所

老人福祉施設
たるみ老人福祉センター



子育て支援施設
たるみ子育て交流館



各施設の種別に合わせて避難者を受入

施設名	主な受入対象となる要配慮者	受入(避難)スペース
たるみ子育て交流館	妊産婦	16スペース(全て個室)
たるみ作業所	障がい者	15スペース
たるみ老人福祉センター	高齢者	22スペース(内個室7室)

※避難スペースは、1人当たり最低4㎡を確保

社会福祉事業団と協定書を締結

同敷地内には

社会福祉法人津市社会福祉事業団
事務局・乳児院「ましろ」・児童養護施設「なないろ」

拠点福祉避難所の運営に当たり人的支援の連携を図るため

平成30年9月25日

社会福祉法人津市社会福祉事業団と
「災害時における福祉避難所運営支援に関する協定書」を締結
保育士・看護師等の資格を持った職員を拠点福祉避難所へ派遣

3者の連携による効率的な運営

津市職員

津市社会福祉事業団職員

津市社会福祉協議会職員

※社会福祉法人津市社会福祉協議会とは、平成24年3月7日に「災害時における福祉避難所運営支援に関する協定書」を締結済

平成30年10月1日から

要支援者世帯にも対象を広げます

大型家具等ごみ出し支援事業



平成30年9月25日

大型家具等ごみ出し支援事業の概要(現行)

事業概要

受付開始

平成30年4月3日

費用

無料

事業目的

大型家具等を1m程度に壊すことやごみ一時集積所まで運ぶことが困難な方(介護を必要とされる方等)を対象として、ごみ出しを支援します

※ 対象品目は、長さの1辺または直径が1m以上2m以下のタンス、書棚、食器棚、鏡台、マットレス、マッサージチェアなどの大型家具類

対象世帯

「要介護1以上の者又は障がい者」のみで構成される世帯

収集方法

市職員が直接対象世帯宅まで収集にうかがいます

大型家具等ごみ出し支援事業の実施状況

平成30年4月から8月末までの実施状況

受付件数

54 件

(件数)

25

20

15

10

5

0

受付件数

要支援世帯
その他

月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
受付件数	22	8	7	4	13	54

お問い合わせいただいたものの対象ではなかった世帯

問合せ件数	24	5	4	4	9	46
うち要支援	7	1	0	1	1	10

お問い合わせいただいたものの、
対象ではなかった世帯の件数

46 件

お問い合わせ時の市民の声

- 対象世帯を拡充してほしい。要支援者も含めてほしい。
- 普段のごみ出しはできるけど、体が思うように動かず、大きな家具類は重いので、ごみ一時集積所まで運ぶことができない

まず、要介護者、障がい者の方から優先して事業を進めてきた中で、さらに支援が行き届くようにするために！

大型家具等ごみ出し支援事業の対象者を拡大

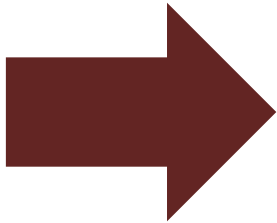
10月1日からの
対象世帯

「要支援1以上の者又は障がい者」のみで
構成される世帯

「要介護1以上の者又は障がい者」
のみで構成される世帯

「要支援1以上の者又は障がい者」
のみで構成される世帯

	要支援1
	要支援2
介護認定	要介護1
	要介護2
	要介護3
	要介護4
	要介護5
障がい者	身体障害者
	精神障害者
	知的障害者



	要支援1
	要支援2
介護認定	要介護1
	要介護2
	要介護3
	要介護4
	要介護5
障がい者	身体障害者
	精神障害者
	知的障害者

対象世帯 約18,000世帯

約3,000世帯の増

対象世帯 約21,000世帯

大型家具等のごみ出し支援の申込みから収集までの流れ

市民（申込者）

予約申込み

環境政策課、または、
各総合支所地域振興課へ
電話または窓口で申込み

市

受け付け

対象者の確認
対象家具等の確認

収集日時調整

申込者と調整し
収集日時を決定

収集

市職員が申込者の
世帯宅にて
収集

受け付けから収集まで概ね1ヵ月以内

お気軽に電話等でお問い合わせください。

※大型家具等のごみ出し以外にも、普段のごみの分別やごみの出し方
について、ご相談ください。

問い合わせ先

津市環境部環境政策課

〒514-8611 津市西丸之内23番1号

電話番号 059-229-3258 ファクス 059-229-3354

E-Mail 229-3139@city.tsu.lg.jp

厚生労働省「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議」

後期高齢者のフレイル対策の先行事例 として美杉地域の栄養パトロールを紹介



平成30年9月25日

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施①

厚生労働省の動き

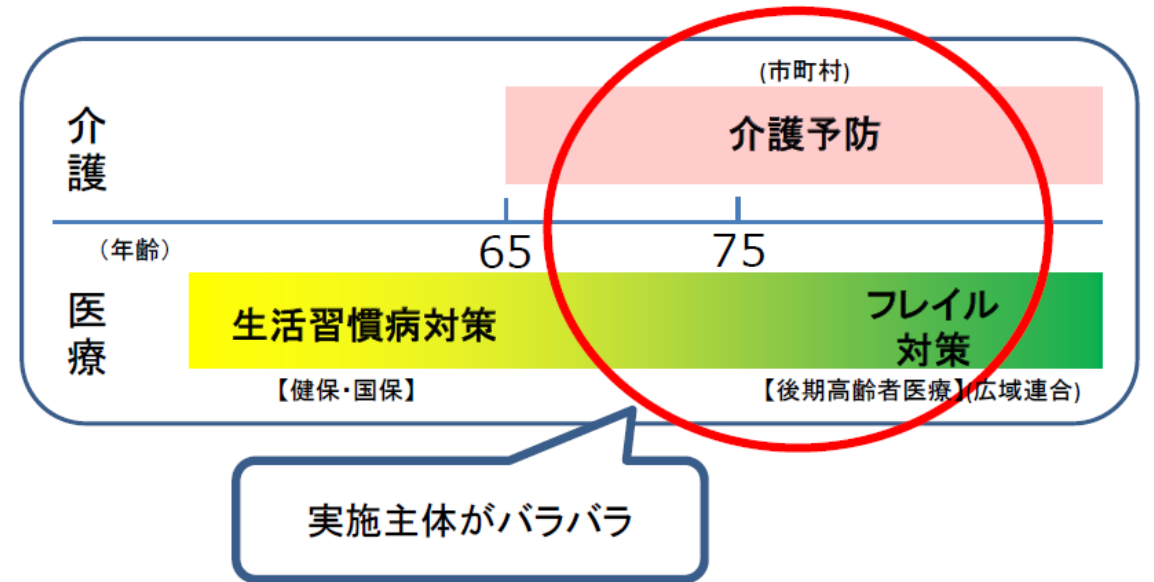
《現状》

生活習慣病やフレイル対策が医療保険で対応するのに対し、介護予防は介護保険で対応するという、それぞれが別々に展開されている実状がある。

生活習慣病対策は健保や市町村の国保が、フレイル対策は広域連合が、介護は市町村が実施主体となっているため、自治体や関係機関そしてかかりつけの医療機関や介護施設などが連携する必要がある。

※フレイルとは
加齢にともなう筋力や身体活動などの低下で、
要介護に至る前段階の状態

- ▶生活習慣病対策・フレイル対策（医療保険）と介護予防（介護保険）が別々に展開。
- ▶医療保険の保健事業は、75歳を境に、保険者・事業内容が異なる。



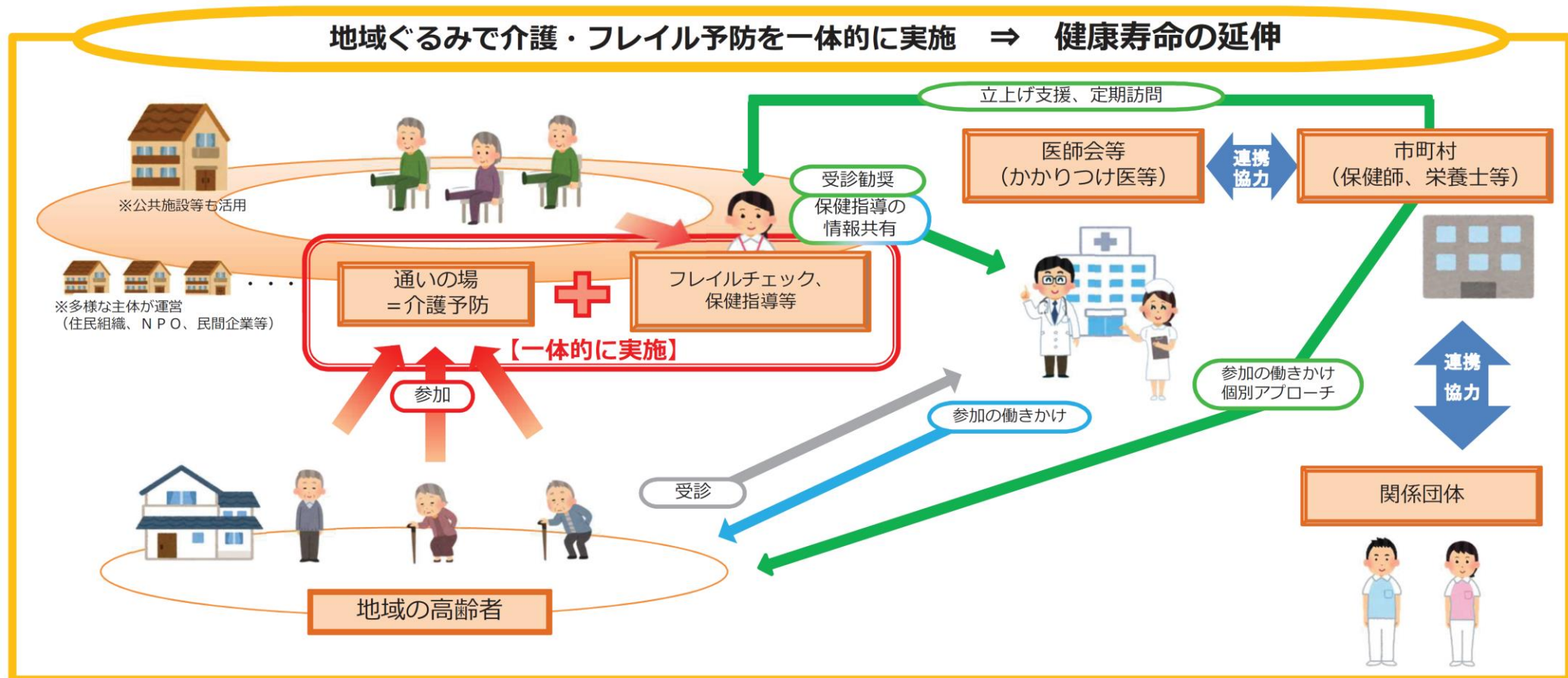
30年8月、厚生労働省が
有識者会議を設置

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施②

予防・健康づくりの推進(医療保険・介護保険における予防・健康づくりの一体的実施)②

平成30年7月19日
社会保障審議会医療保険部会資料

- 高齢者の通いの場を中心とした介護予防（フレイル対策(運動、口腔、栄養等)を含む）と生活習慣病等の疾病予防・重症化予防の一体的実施。
- 通いの場の拡大、高齢者に対して生きがい・役割を付与するための運営支援、かかりつけの医療機関等との連携。



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施③

一体的実施のねらい ⇒ 後期高齢者のフレイル対策の推進

医療保険での生活習慣病・フレイル対策を進めるために、介護保険制度の「通いの場」を活用し、集まった高齢者が保健師等による保健指導が受けられる体制をつくる。有識者会議はこのスキームを軸に検討

《本市での取り組み》

三重県高齢者医療制度特別対策補助金を活用し、モデル事業として、平成27年度から平成29年度までの3年間で、美杉地域を中心に「栄養パトロール事業」を実施。個別栄養支援や地域栄養ケア会議などで、地域住民の栄養課題の解決に取り組み、高齢者の低栄養防止・重症化予防を推進した。

この栄養パトロール事業が一体的実施の先行事例に合致
⇒ 津市長（全国市長会副会長）が有識者会議の構成員に

有識者会議について(第1回有識者会議)

開催要綱(要約)

【目的】

人生100年時代の到来も視野に入ってきている中、長寿化を国民の安心につなげるためには、健康寿命の延伸が重要な課題である。
とりわけ、高齢者の多くは健康に関する不安を有しており、高齢期のニーズに応じて、介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防等の予防・健康づくりを効果的に実施することが急務である。
こうしたことを踏まえ、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、法制的・実務的な論点を整理・検討するため、会議を開催する。

【検討事項】

- ・一体的実施の意義・目的
- ・実施内容(効果的な支援のあり方)
- ・実施主体(市町村と広域連合、保険者間の役割分担)
- ・事業スキーム(財源、計画、PDCA等)

第1回有識者会議 (9月6日) の概要

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、各構成員それぞれの専門の立場から意見等が述べられた。
住民に最も身近な自治体である「市町村」が事業主体となることを基本とし、こういった仕組みとするかが、一体的実施を行うにあたり、今後の議論の方向性となった。

構成員名簿(50音順、敬称略)

氏 名	所 属
有澤 賢二	公益社団法人日本薬剤師会常務理事
飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構教授
石田 路子	特定非営利活動法人高齢社会をよくする女性の会理事
遠藤 久夫	国立社会保障・人口問題研究所所長
大澤 正明	全国知事会理事(群馬県知事)
鎌田久美子	公益社団法人日本看護協会常任理事
河本 滋史	健康保険組合連合会常務理事
城守 国斗	公益社団法人日本医師会常任理事
小玉 剛	公益社団法人日本歯科医師会常務理事
近藤 克則	千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授
齊藤 秀樹	公益財団法人全国老人クラブ連合会常務理事
田中 和美	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科教授
辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科教授
津下 一代	あいち健康の森健康科学総合センターセンター長
藤井 康弘	全国健康保険協会理事
前葉 泰幸	全国市長会副会長(三重県津市長)
山本 賢一	全国町村会副会長(岩手県軽米町長)
横尾 俊彦	全国後期高齢者医療広域連合協議会会長(佐賀県多久市長)

座長には遠藤久夫氏、座長代理には辻一郎氏が選出された。

第2回有識者会議での発表①

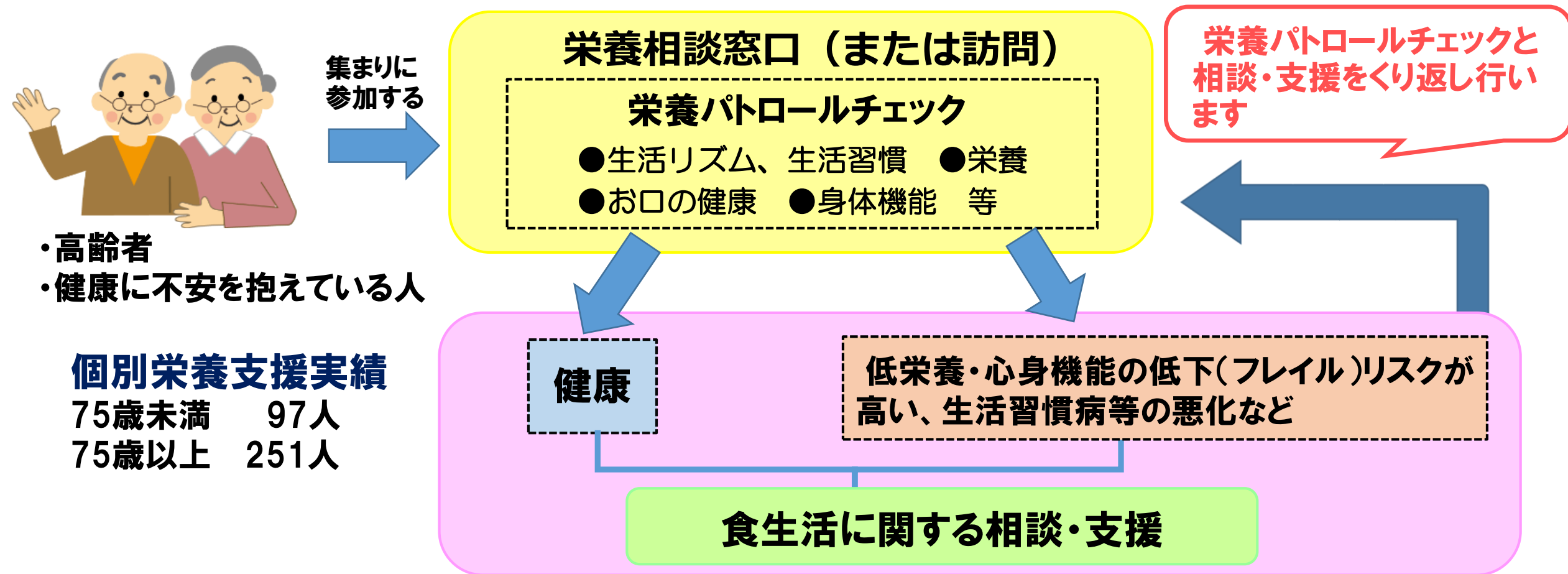
美杉地域の栄養パトロールの取組について(H27～H29年度)

1 個別栄養支援

地域で行われているサロン・集まりの場などへ出向き、保健師・管理栄養士・歯科衛生士等が生活習慣や食生活に関するチェックをし、低栄養・フレイルリスクが高い人には相談・支援を行います。

集まりの場に来れない人は、自宅へ訪問し支援をします。

また、低栄養・フレイルリスクが高い人などには、関係機関と連携し重点的に支援します。



第2回有識者会議での発表②

美杉地域の栄養パトロールの取組について(H27～H29年度)

2 地域栄養ケア支援

個別栄養支援で把握した課題や地域の人との意見交換から、地域の栄養課題を抽出し、改善に向けた検討を行います。(地域栄養ケア会議)

この地域では・・



地域の課題

- ・一人暮らしの人の食事が心配
- ・一人暮らしの人の見守りが必要
- ・男性が出かける場が少ない

- ・食生活の見守りポイントがわかるように
- ・見守りをする人を増やすために

研修会を開催

延べ4回開催、参加人数71人

＜地域栄養ケア会議のメンバー＞

自治会長・老人クラブ会長・地域住民・食生活改善推進員・健康づくり推進員・民生児童委員・地域包括支援センター・社会福祉協議会・医師・管理栄養士・薬剤師・歯科衛生士・保健師など

- ・楽しく料理を学べるように
- ・つながりができるように

男の健康料理教室を開催

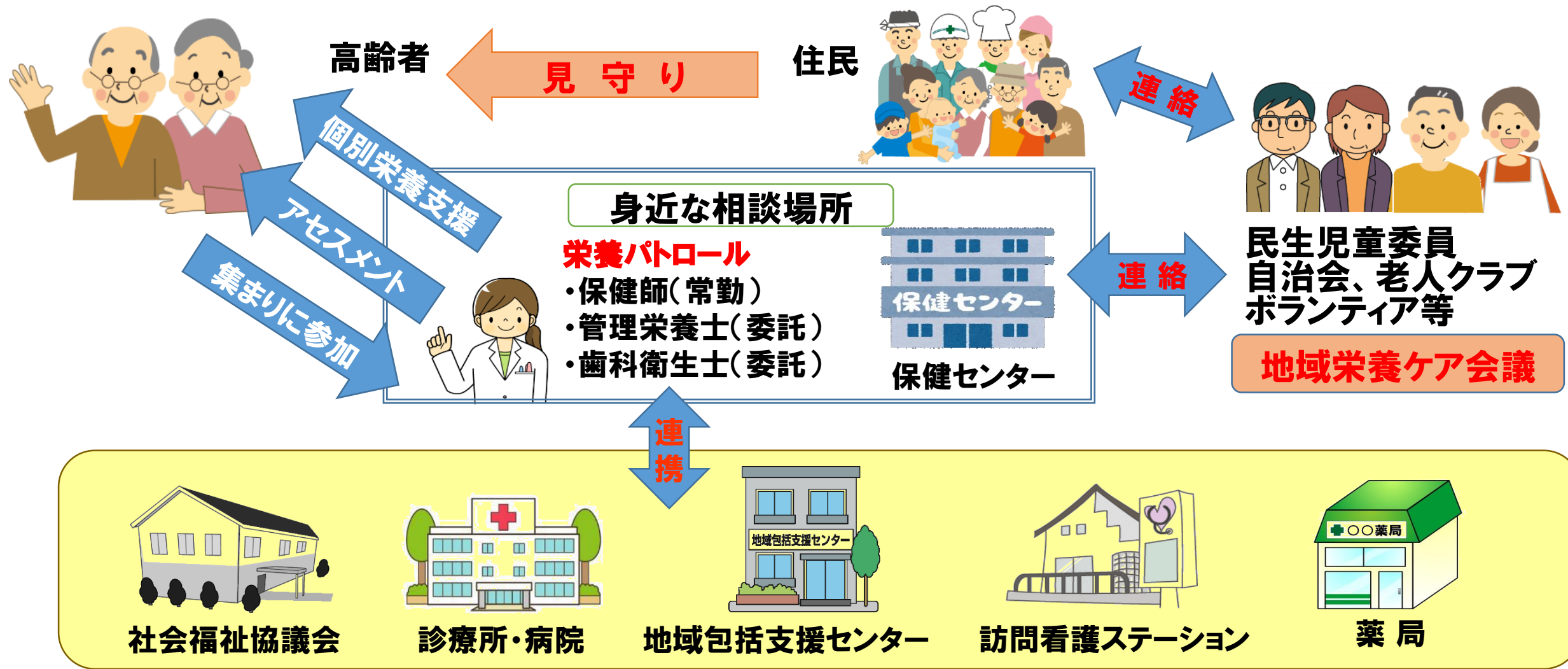
延べ6回開催、参加人数114人

第2回有識者会議での発表③

美杉地域の栄養パトロールの取組について(H27～H29年度)

3 支援体制イメージ図

地域の特性を踏まえ、高齢者に関わる様々な機関やそこに住む住民のみなさんと連携して支援していきます。



有識者会議について(第2回有識者会議)

第2回有識者会議 (9月20日) の概要

三重県津市、神奈川県大和市、滋賀県東近江市の事例発表が行われた。

【事例発表後の議論の視点】

- ・自治体にどのような体制を整備しなければならないか
- ・広域連合として、どのような役割や市町村へのアプローチを強化していけばよいか



※津市長として第2回有識者会議で述べた意見

厚生労働省には、津市がモデル事業をやってみてやりにくかった点をうまくカバーして、市町村がやりやすい仕組みを作っていただくことをお願いしたい。

【75歳以上の人とそれ以外の人の問題】

国から広域連合に補助金を支出されても、広域連合は市町村に委託事業としてまた出していくということになって、結局は市町村単位でやらなければいけない。モデル事業でも75歳にならない人は対象外としなければならず、それをやらねばいけないとなると、非常に事務の手間がかかる。

【体制づくりの問題】

栄養士や歯科衛生士の充実した体制を直営で持っている自治体は現時点では非常に少ない。保健師も健診やがん検診など色々なことをやっているの、高齢者の健康というところだけに物事を集中していくというのは難しいと思う。

従って体制づくりをどういう形でやるかということをしっかり我々も考えておかなければいけないと思っている。

【事業の形態について】

例えば保険の種類に関わらず、一般施策として高齢者保健事業というのを組み立てていただき、それを交付金のような形で、市町村に任せて渡すことをしていただければ、責任を持ってやれると思う。

平成30年10月6日・7日開催

津まつりを楽しく、より快適に！ サオリーナ・オープン1周年記念イベント！



平成30年9月25日

津まつりの概要

10月6日 **土**

- ・市民総おどり
- ・安濃津よさこい他演舞
- ・まん中広場アコースティック
ライブ夢屋台
- ・FOOD & MUSIC
- ・津つつとマルシェ
- ・山車、みこし
練り歩き



10月7日 **日**

- ・津まつり大パレード
(和船山車「安濃津丸」、
みこし、マーチングバンド、
郷土芸能、高虎時代絵巻
他)
- ・一日船長トークショー
- ・安濃津よさこいパレード
- ・安濃津よさこい他演舞
- ・健康まつり
- ・フリーマーケットin津
- ・美杉手筒花火
- ・津のまちプラレール
- ・津郷土芸能の集い
- ・YEG祭
- ・FOOD & MUSIC
- ・各種団体等ブース出展
- ・山車、みこし練り歩き

市内各所で
各種イベントを開催！

和船山車「安濃津丸」1日船長は奈緒さん！

9月10日発表済



な お
奈緒 さん

津まつり大パレード 和船山車「安濃津丸」の1日船長は和船山車運営委員会にて女優の奈緒さんが選ばれました。

10月7日 日

裁判所前会場 14時31分～

和船山車「安濃津丸」1日船長權引き渡し式

津中央郵便局前会場 15時25分～(予定)

1日船長トークショー

プロフィール

1995年2月10日福岡県生まれ、血液型A型。

2018年NHK連続テレビ小説「半分、青い。」でヒロインの親友として、自身と名前が同じ木田原菜生(なお)役を務める。

「福岡空港ビルディング」「吉乃川」「ダイハツ・トコット」などのテレビCMにも多数出演中。

今年7月期の土曜ドラマ「サバイバルウェディング」(日本テレビ系)に出演する他、秋以降もBS連続ドラマ主演、映画も多数公開が控えている。

踊ろう！ 津のまち音頭～つつ津々浦々～

津のまち 音頭

～つつ津々浦々～

松原のぶえさん山崎ていじさん
ステージ

フェニックス会場

10月6日**土**18:20～18:50

10月7日**日**15:18～15:30

市民総おどり

10月6日**土** フェニックス通り

第1部 19:00～19:30 津のまち音頭、津音頭、高虎音頭

1曲目は津のまち音頭を松原のぶえさん、山崎ていじさんが歌います！

19:30～

津高虎太鼓

第2部 19:50～20:30 津のまち音頭、津音頭、高虎音頭

津のまち音頭
イベント

「津のまち音頭」を歌う
松原のぶえさんと山崎ていじさんによるステージ

10月7日**日**17:00～17:45 お城西公園ステージ



松原のぶえさん

大分県出身。昭和54年デビュー曲「おんなの出船」で第21回日本レコード大賞・新人賞をはじめ各賞を受賞。第1回レコ大・美空ひばり賞受賞、NHK紅白歌合戦出場歴7回。今年デビュー40周年を迎え、7月に新曲「みれん岬」をリリース。



山崎ていじさん

島根県出身。プロボクサーを経て平成8年に歌手としてスタート。平成26年に日本作曲家協会音楽祭・奨励賞、第47回日本有線大賞・新人賞を受賞。津市を拠点に全国で活躍中。新曲「夢の橋」も大好評発売中。

松原のぶえさんと山崎ていじさんによるステージで、津のまち音頭を踊ろう会メンバーが踊りを披露します。

津まつりを楽しく、より快適に!!



お使いいただける公共トイレ

- ① 津リージョンプラザ(1階～3階)
- ② 市役所本庁舎(東1階～3階)
- ③ お城西公園
- ④ お城公園
- ⑤ 観音公園

仮設トイレ

- ⑥フェニックス通り(東側)
⑦三菱UFJ銀行東側駐車場

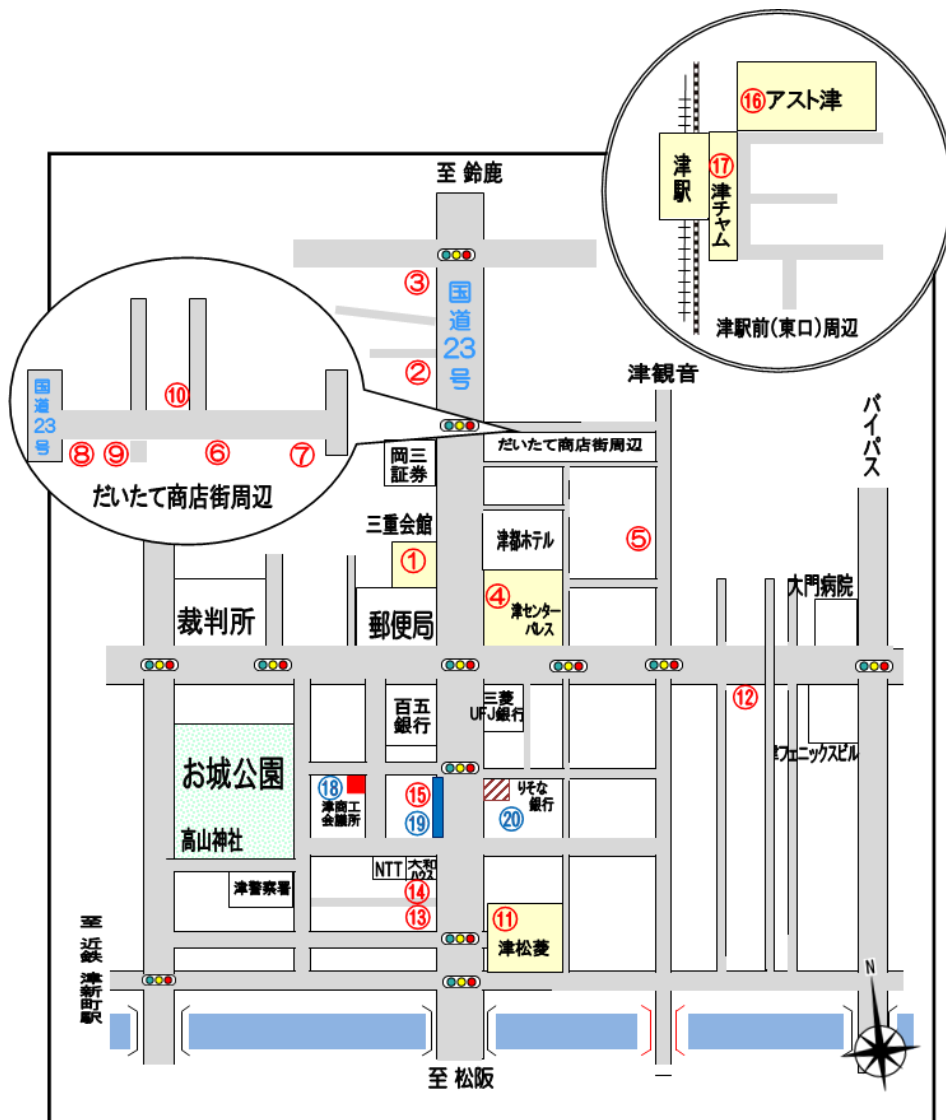
授乳室

- ①津リージョンプラザ(1階)
⑧津センターパレス

- A** お城西公園会場
津リージョンプラザ会場
B お城公園会場
C 旧中央公民館前会場
D 裁判所前会場
E 津中央郵便局前会場
F フェニックス会場(西)～JC会場～
G フェニックス会場
H フェニックス会場(東)～YEC祭会場～
I 観音公園会場
J 津新町通り会場

津まつりを楽しく、より快適に!!

津まつり期間中、20事業所・店舗にご協力いただき
トイレまたは休憩所としてご利用いただけます。

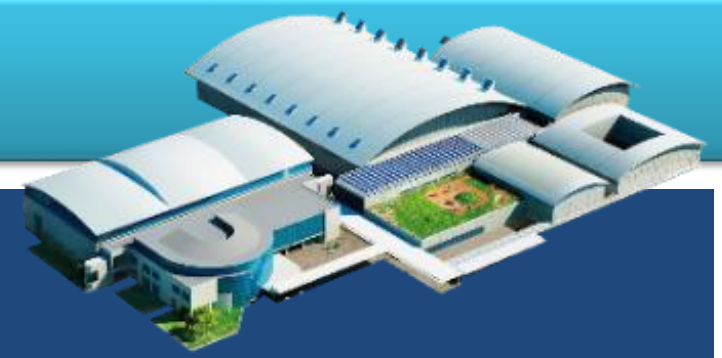


- | | |
|------------|-----------------------|
| ① 三重会館 | ⑫ Felire |
| ② 共和タクシー | ⑬ たばね庵 津店 |
| ③ ZTV | ⑭ 大谷はきもの店 |
| ④ 津センターパレス | ⑮ 別所時計店 |
| ⑤ 大門いここ広場 | ⑯ アスト津 |
| ⑥ シモオカ陶苑 | ⑰ 津チャム |
| ⑦ 飯処 しるべ | ⑱ 津商工会館 |
| ⑧ 明風 | ⑲ 丸之内商店街
(休憩スペース) |
| ⑨ 平治煎餅本店 | ⑳ おやすみ処りそな
(りそな銀行) |
| ⑩ メガネの服部 | |
| ⑪ 津松菱 | |

※①～⑰は、津商工会議所津まつり協力事業所・店舗

津まつりと同時開催！！

サオリーナ オープン1周年記念イベント 2018年10月6日 **土** 7日 **日**



参加費無料

申込不要

①各種スポーツ体験会 (メインアリーナ)



バドミントン

②ゆるスポチャレンジ！ (サブアリーナ)



スピードリフティング

③ヘキサスロン体験会 (メッセウイング・みえ)



写真はイベントの一例です。他にも各種体験をご用意しています！

④プログラム体験会 (フィットネススタジオ)



ヨガ

スケジュール

①②③両日9時～12時、13時～17時、18時～21時30分
※時間中いつでも参加できますが、状況により、お待ちいただく場合があります。

④10月6日 **土** 9時20分～16時 10月7日 **日** 13時～15時45分
※プログラム開始15分前に整理券配布(先着各35人)
※各種プログラムの開始時刻については**広報津9月16日号**をご覧ください。



ぜひ来てね♪

主催・問い合わせ

指定管理者:津市スポーツ・メッセネットワーク
(TEL)059-223-4655 (FAX)059-223-4656